

「MASP なんでも高座」

【発表概要】

2016年4月19日

題目・テーマ	概念データモデル活用による三方よしの情報システム構築(整備)		
場所・会場	三田いきいきプラザ		
開催日	2016年5月18日(水)	開始時刻	14:00PM ~ 14:50
講演者	高橋 哲(タカハシ サトシ)	所属団体等	(株)バイス
連絡先(電話)	会)048-857-9130 携)090-1604-4190	メール	S3104.takahashi@gmail.com

【主旨】

CDMは事業環境の速い変化に対応し情報システムの構築・整備を上手く行う有力な方法

- ① MASP提唱の概念データモデル(CDM)の有効性、課題等を考える。
- ② 各位と意見、情報交換で得られた知見を活用 CDMの一層の普及を図りたい。
- ③ さらには、MASPと関係各位との協業の可能性を探りたい。

【内容】

長年、小生が携わってきた情報システムの構築・整備に関する経験(かつての良き時代)と近年客先やSIer、諸講演会などで耳にする現状を顧みて、

- 1) 情報システムの構築・運用を取り巻く環境に起きてきた変化とは。
 - 2) 何故、情報システムの構築・整備が上手く進まずプロジェクト成功率が低いのか、その阻害要因は何か。
 - 3) 情報システム構築・整備における「世間よし」とは、どんな事か。を考察し、情報システムの構築・整備を上手く行う1つの方法として
 - 4) モデル(特に、概念データモデル)を利用すると何が良くなるのか。
 - 5) 概念データモデルの概要と特徴
 - 6) 情報システム構築・整備における概念データモデルの有効性
 - 7) 情報システムの実装における留意点・課題
- 等小生の勝手な想いを提起するので、(約75分)
- 8) 概念データモデルの活用普及に向け、質疑応答ならびに皆さんからの意見・情報交換、検討等頂きたい(約60分)。

【自己紹介】

高橋 哲(タカハシ サトシ) 通称てっちゃん 出身地:山形、鶴岡高専卒

◎(株)東芝の情報システム部門で事業部IS長等として、部門/情報システムの企画・運営に従事。

・原子力事業部門:情報システム整備計画の立案と運営。

当時最高速 Super Computer 導入、発電プラント配置設計 3D-Computer modeling system
発電プラント定期点検工事管理システム(Project Management System)

・本社部門:東芝 ERP の導入立上げ(生産管理/工場標準資材調達システム開発・適用)

・携帯事業部門:中国現地法人(販売・製造)の情報システム整備・立上げ

企業内部統制(JSOX)の監査運営、個人情報保護対応と指導 等

◎(株)バイス設立 2012年9月(情報システム構築/情報セキュリティ/PMOなどコンサル支援)

◎資格認定等:プロジェクトマネジメント・スペシャリスト(PMAJ 認定)

上級個人情報保護士、マイナンバー管理士(情報協認定)

◎趣味:スキー、テニス、ゴルフ、60歳の手習いに陳式太極拳に挑戦中。麻雀少々に、囲碁はザル。

【アピールポイント】

良く言えばじっくり考え見極めて、悪く言えば優柔不断。 - ゆっくり、早く -